

平成 28 年度 栗東市バス対策地域協議会（第 1 回）

議 事 録

[開催日時] 平成 28 年 6 月 3 日（金） 10:00～

[開催場所] 栗東市役所 4 階 第 1 委員会室

[出席者] 清水会長、坂口副会長、戸田委員、芝委員（代理者出席）、加藤委員、
影山委員（代理者出席）、青木委員、黒田委員、高尾委員、
横幕委員（代理者出席）、隠岐委員、山田委員、濱田委員、坂田委員
野村市長、太田市民部長、事務局（市民部生活交通課）

[欠席者] 川口委員、樋口委員

[会議概要]

1. 開 会
2. 挨拶
・野村市長挨拶
3. 委 嘱
4. 会長・副会長の選任
・清水会長挨拶
5. 協 議 事 項
 - (1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
 - (2) くりちゃんバスの運行見直しについて
 - (3) その他
 - ・草津駅・手原線および治田循環線の一部ルート変更について
 - ・帝産湖南交通（株）「金勝線」（草津駅～コミュニティセンター金勝）について
6. 閉 会
・坂口副会長挨拶

[議事内容]

1. 開 会

2. 挨拶

3. 委 嘱

4. 会長・副会長の選任

5. 協議事項

(1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

主な意見、質疑応答など

○意見無し

(2) くりちゃんバスの運行見直しについて

主な意見、質疑応答など

○意見無し

(3) その他：

- ・くりちゃんバス草津駅手原線および治田循環線の一部ルート変更について
- ・帝産湖南交通(株)「金勝線」(草津駅～コミュニティセンター金勝)について

主な意見、質疑応答など

○草津駅手原線および治田循環線の一部ルート変更について、いつから変更されるのか？

→今年の10月2日を予定している。

○帝産湖南交通(株)「金勝線」(草津駅～コミュニティセンター金勝)の、西住宅以降の路線を取りやめるルート変更について、もう一度、説明願いたい。

→現在、30便のすべてが草津駅から赤坂を抜けて、中村から事務所前を通って、西ヶ谷に入って西住宅、そちらから折り返して、西住宅から西ヶ谷、事務所前、そして、金勝小学校、終点のコミュニティセンター金勝まで運行している路線の一部を、草津駅から西住宅の運行で止め、西住宅からコミュニティセンター金勝に行く便を減らしたいという提案である。

→計画内容は理解したが、コミュニティセンターは地域住民の集いの場であり、地域住民の中心である。コミュニティセンターを待ち合わせとして利用される方が、今でも

多い。また、老人の方が会議等のときに集合して、会議の帰りにバスを利用する方も多い。福祉・弱者救済という意味でも、廃線にならないように努力していただきたい。
→今回の提案は、廃線ではなく一部減便で考えている。

○治田循環線のなごやかセンターのバス停が正面玄関の前なので、バスが正面玄関に停まるとなごやかセンターに入るときに、バスが邪魔になって入りづらい。
→停車位置について乗務員に指導する。

○金勝線をコミュニティセンターで止めずに、大野神社まで延伸するのはどうか。現在、大野神社に来る、市外からの観光客が年間 20～30 万人いると聞いている。例えば、コミュニティセンターまで行くバスの何便かは、大野神社まで延伸するという事も考えられないか。

また、大野神社にはバスが駐車する場所がないため、昔の成谷バス停まで延伸したら、バスも待機できるので考えていただきたい。

→手続き上、路線認可の話もあるので、大野神社への延伸、減便の話等も含めて、今後、引き続き、帝産湖南交通と調整していきたいと思うがかなり難しい。ただ、くりちゃんデマンドタクシーが大野神社に行くので、当面はくりちゃんデマンドタクシーのPRとかたちで進めていけたらと思う。

○今年の 4 月からの栗東駅から済生会病院を経由する帝産バスの金勝線の減便はずっとなのか。

→4 月からの減便分の復活予定はありません。

○くりちゃんタクシーは、デマンド方式を採用して運行しているということは、当然、乗り合いでの運用をされていると思うが、実態として乗り合いによる利用となっているのか。

→くりちゃんタクシーについては、ルートは設定しており、予約があった場合に運行している。利用実績については、1 つの申し込みに対して、概ね 1～2 人というのがメインになっている。

○資料の中に収支率の目標が掲げられており、実際の収支率も年々よくなっているが、今回宅屋線が守山駅まで延伸されることによる収支率の変動を試算的したのか。

→収支率について、延伸部分の試算はできていないが、平成 25 年からジョイント運行をしている宅屋線の延伸なので、今までと同じか、それ以上に伸びるのではないかと期待している。

6. 閉会

以上